

# Truth

2017 Winter

contents

2 特集 ～新学部開設&第3期認証評価に向けて～  
修大版・大学改革の歩み

7 海外留学記

8 ゼミ訪問

## Topics

広島経済同友会創業支援委員会と本学学生とのワークショップを開催  
ひろみらオープンスクールを開催  
経済学部西田友是教授が秋の褒章を受章  
インターンシップ報告会を開催  
「第21回安佐南区農業祭」に健康栄養学学生が参加  
防火・防災訓練を9号館で実施  
図書館・本館の外壁改修工事を実施  
「第1回修大ふぁみりーフェスタ♪」を開催  
日本財団学生ボランティアセンター(Gakuvo)との協定を締結

12 Campus News

15 2017 作文コンテスト入賞作品発表!

16 学生広報スタッフ企画

18 Circle Information

20 刊行物

21 Event Guide

22 Campus Photo Message

## 「Truth」—そのネーミングの由来—

Since 1972

Truth 真理・真実・真相 大学広報誌のめざすべき、  
Rapidly 速く 真理・真実・真相をできるだけ速く、ひろく、しかも思慮深く、  
Universally ひろく 誠実に伝えることをモットーとして、ここに「TRUTH」  
Thoughtfully 思慮深く が生まれました。  
Honestly 誠実に

## 道を修める

「修道」という名は、古典の一つ『中庸』の「天命之謂性 率性之謂道 修道之謂教」(天命をこれに性といひ、性に率うこれを道といひ、道を修めるこれを教といふ)に由来します。この意味は「人間にはそれぞれの天性がある。天性を伸ばすのが人間の道である。その道をしっかりとしたものにするのが教育である。」という意味に解されます。「地球の視野を持って、地域社会の発展に貢献できる人材の養成」を理念、教育目標として掲げ、その精神をもとに、広島修道大学はさらに未来をめざします。



- 表紙 経済学部経済情報学科3年中野 翼さん(広島県立広島国泰寺高校出身)とプログラミング教室に参加した小学生
- 裏表紙 脇谷ゼミ一同(写真2列目一番右は、学外協力者 クランチャイマー株式会社代表取締役社長 佐々木 宏太氏)と、参加小学生

「地域つながるプロジェクト2017」にゼミで取り組んでいます。プロジェクトのテーマは「つながり∞プログラミング」で、8月と12月に、小学生を対象としたプログラミング教室を開催しました。これまで授業で学んできたプログラミングの経験を活かして準備しましたが、小学生に分かりやすく伝えることは難しかったです。教室の企画から開催まで、ゼミのメンバー全員で協力して取り組むことができ、みんなにとって良い経験となりました。

(詳細はP8のゼミ訪問をご覧ください)

※撮影場所:イノベーション・ハブ・ひろしまCamps(広島市中区紙屋町)

広報誌「Truth」は、春・夏・秋・冬と年に4回発行し、保証人の皆さまにもお送りします。ご意見などありましたら、下記までお寄せください。本誌の記事・写真などの無断転載を禁じます。



## 広島修道大学

学長室総合企画課

〒731-3195 広島市安佐南区大塚東1-1-1

Tel. (082) 830-1102 Fax. (082) 830-1324

ホームページ <http://www.shudo-u.ac.jp/>

携帯用サイト <http://www.shudo-u.ac.jp/mobile/>



Webサイト(スマートフォン対応)

※対応できない機種もありますのでご注意ください。



UNIVERSITY ACCREDITED 2012.4-2019.3  
大学基準協会  
大学評価 認定マーク

# Truth

2017 Winter Hiroshima Shudo University

特集 ～新学部開設&第3期認証評価に向けて～ 修大版・大学改革の歩み

- 海外留学記 ■ゼミ訪問 ■Topics ■Campus News ■2017 作文コンテスト入賞作品発表! ■学生広報スタッフ企画
- Circle Information ■刊行物 ■Event Guide ■Campus Photo Message



すべてを学びのもとに

## 広島修道大学

通巻第193号 2018年1月29日発行 広島修道大学広報誌

～新学部開設 & 第3期認証評価に向けて～

# 修大版・大学改革の歩み

2018年度は「国際コミュニティ学部」の開設、また第3期認証評価の申請の年となります。2016年度から行ってきた新学部・学科設置の区切り、また認証評価の申請を機として、4年制大学開学50周年(2010年度)からこれまでの取り組みを振り返ります。



## 地域イノベーションコーススタート

前年度に採択された「ひろみらプロジェクト」の教育事業の一つとしてスタート。「イノベーション人材」の育成をめざし、地域におけるプロジェクトの進め方を座学、ワークショップ、フィールドワークなどを通じてスキルを身につけていきました。今年度現在で総計823名の学生が参加しています。

## 8.20広島土砂災害復旧支援

本学から学生・教職員が発災現場の作業とボランティアセンターでの受付業務を行いました。ボランティアには2015年度以降も参加し、サークル団体等を含み多くの学生・教職員が災害復旧支援に携わりました。



## 広島経済同友会との連携事業

### 企業見学バスツアー

広島経済同友会との協定をきっかけに、地元優良企業の魅力を伝えることを目的とした企業見学バスツアーを実施。毎年実施され、2017年度8月現在で総計109名の学生が参加しました。



### 「広島地域活性化委員会」懇談会

「広島県の中山間地域における地域活性化に資する活動や仕事の現状と課題について」をテーマに懇談会を開催。「帰ってきたいふるさとづくり」「田舎のファンづくり」などをキーワードにそれらの実現に向けた意見交換を行いました。

## ポर्टランド・グローバルイノベーションセミナー実施

地域イノベーションコースの一環として、グローバルイノベーションセミナーに第1期生10名を派遣。

ポर्टランド(米国)にて行政と住民がともにすすめる、魅力あるまちづくりについて学びました。

## 連合広島の寄付講座開始

「日本労働組合総連合会広島県連合会」との協定締結をきっかけに、後期から「C群特許講義(働くこととワークルール)」を開講。地元企業の近年話題になっている「働き方」について、学生に正しい知識や対応を知ってもらうことを目的として、広島労働局、地元企業の労働組合の方に協力をいただきながら実施しています。



## 広島経済同友会 創業支援委員会とのワークショップ開催

本学卒業生の企業家4名を迎え、学生に、就職という進路選択だけでなく、自分で起業・創業するという選択肢も存在することを学ぶことを目的に開催しました。



## 長期インターンシップ

8つの企業に実習先としてご協力をいただき、科目「長期インターンシップA」がスタートしました。実習期間は約1か月間で、実習前にはビジネスマナーや実習先企業研究などの指導を行い、実習後にも成果報告のプレゼンテーションを行いました。

## 主に地域とグローバルを中心とした取り組み

### 「地域つながるプロジェクト」スタート

学生が地域と連携して地域の課題について調査・研究を行うプロジェクトをスタート。今年度現在で総計110プロジェクトが実施されています。



### 広島商工会議所とシンポジウム

広島商工会議所との協定により開催。地域企業の方々へ本学教員が講演をさせていただきました。



### 文部科学省共催「熟議」開催

「2030年になっても住み続けたいまち「広島」であるために」をテーマに開催。10のグループに分かれ、学生が地域の方と一緒に意見交換を行いました。毎年開催し、多くの方の意見を取り入れています。



### 文部科学省「地(知)の拠点整備事業(COC)」採択

文部科学省より、「イノベーション・ブリッジによるひろしま未来協創プロジェクト(ひろみらプロジェクト)」が採択。教育・研究・社会貢献の3つの柱によって進めるこのプロジェクトは、本学と地域との関わり方を大きく発展させるものとなりました。



### 東日本大震災復興支援ボランティア派遣

2011年度から毎年派遣を行い、今年度現在で総計109名の学生が復興支援に参加しました。



- 【自治体】広島県北広島町
- 【金融】もみじ銀行
- 【企業】ひろぎん経済研究所

- 【団体】広島経済同友会
- 【団体】廿日市商工会議所
- 【団体】日本労働組合総連合会 広島県連合会(提携講座)

- 【自治体】広島県坂町
- 【自治体】山口県(就職支援)
- 【自治体】島根県(就職支援)
- 【企業】第一生命(提携講座)

- 【金融】広島信用金庫
- 【団体】日本財団学生ボランティアセンター

## 2010年度

- 4年制大学として開学50周年
- 法学部国際政治学科20周年
- 文部科学省「大学生の就業力育成支援事業」採択
- 「地域つながるプロジェクト」スタート

## 2011年度

- 鈴峯学園との合併協議開始
- 小学校教諭免許課程開設
- キャリア・ポートフォリオ・システム(ShuP)運用
- 大学基準協会「第2期認証評価」適合認定

## 2012年度

- 修道短期大学設立60周年
- 人間環境学部10周年
- 文部科学省共催「熟議」開催

## 2013年度

- 鈴峯学園との法人合併協定
- 人文学部40周年
- 小学校教諭専修免許課程開設
- 学習カルテシステム(ShuR)運用
- オープンキャンパス「修活」開催
- 文部科学省「地(知)の拠点整備事業(COC)」採択

## 2014年度

- 法務研究科学生募集停止
- 「ひろしま未来協創プロジェクト」始動
- 地域イノベーションコース開設
- グローバルコース開設
- インターネット出願開始

## 2015年度

- 鈴峯学園との法人合併
- 鈴峯女子中高を附属校化
- 2016年度入試志願者1万人超
- 一般入試改革(全日程全学部受験)
- 文部科学省「地(知)の拠点大学による地方創生推進事業(COC+)」採択(連携校)

## 2016年度

- 法学部40周年
- 法務研究科廃止
- 教育学科開設
- 2017年度入学志願者1万人超

## 2017年度

- 経済学部20周年
- 健康科学部開設
- 4学期制導入
- 国際コミュニティ学部設置届出可
- 附属中高の共学化決定

- クライストチャーチ工科大学【NZ】(全学レベル)

- 国連訓練調整研究所(ユニタール)
- テレコム・ビジネス・スクール【仏】

- 仁川大校【韓】
- パシフィック・インターナショナル・アカデミー【米】

- ベトナム国家大学ホーチミン市人文社会科学大学【ベトナム】

- バレンシアカレッジ【米】
- アシャップブルク応用科学大学【独】

- RMIT大学ベトナム【ベトナム】
- ポर्टランド州立大学【米】
- オロモツツ・バラツキー大学【チェコ】

- カンタベリー・クライスト・チャーチ大学【英】
- グアナファト大学【メキシコ】

### 海外セミナーを全学部へ開放

各学部にて独自プログラムであった海外セミナーを全学部へ開放。参加者は92名から158名へと大幅に増えました。

### 広島国際交流会館(現インターナショナルハウス)を取得

交換留学生を対象とした寮として利用。レジデント・アシスタント(RA)として日本人学生が日頃の生活サポートを行いながら、寮内での交流も活発に行われています。



### 国連ユニタールでのインターンシップ開始

協定をきっかけとして、2013年度から国連ユニタール広島事務所でのインターンシップを開始。2014年度には、最初の参加学生が本学図書館でアフガニスタンの現状を伝えるための写真展を実施しました。



### グローバルコーススタート

2012年度に協定校となったパシフィック・インターナショナル・アカデミー(PIA)のもと、英語学修とサービスマーケティング(就業体験)を組み合わせた留学プログラムに、本学での英語学修とキャリア支援と合わせてコースに組み込み、開設。2016年度からは、ニュージーランド・クライストチャーチ市クライストチャーチ工科大学(AIC)も派遣先に加わりました。毎年約40名の学生を入学期に選抜し、2017年度現在で総計116名の学生が登録しています。



### グローバルコース1期生PIAに派遣・帰国

2年次後期の留学として、PIAへコース1期生を派遣しました。

### グローバル科目群設置

各学部の専門性を軸に、よりグローバルな視点や英語力を身につけることを目的に、グローバル科目群を設置し、「留学生教育」「留学支援教育」「国際共修」を柱に教育を行っています。

### バレンシアカレッジ・ディズニーセミナー開始



### ベトナム・RMITセミナー開始

4年間の課程を経て、1期生18名が修了しました。コースでの学びを活かし、それぞれの道での活躍を期待します。

### 日本語・日本文化セミナーの拡充

2001年度から始まり、2017年度には最多の7カ国・地域、8大学から28名の留学生が本セミナーに参加。学生や教職員を含め、100名以上の参加者が交流を深めることができました。

### 啓明大学校申総長に名誉学位授与

海外協定校・啓明大学校(韓国)の申一熙総長への広島修道大学名誉博士称号授与式を行いました。本学は、1996年1月に啓明大学校と学生・教員の交流協定を締結し、2017年度までに両大学合わせておよそ850名の学生・教職員が交換留学や海外セミナーなどのプログラムに参加しています。今回の授与式は、両大学による交流の成果とその重要性を改めて認識する場となりました。



### 新3号館が竣工

およそ400名を収容できる大教室2室と教員・大学院研究室を併せもつ、新しい教育・研究の拠点として誕生しました。エントランスには、本学の歴史を知ることができる年表や校名由来の書を掲げています。



### 協創館が竣工

ひろしま未来協創センターと国際センター、学習支援センターを配置した新たな知の拠点として誕生。学生、教職員、地域が一丸となり、より良い未来を創っていくために一緒に考え、行動するための場所です。

地階1階のエントランスには学生による藍染めのオブジェを設置した他、留学生と交流をするための「iCafe」、グループワークやディスカッションなどを行うラーニングcommonsとして活用する「まなびcommons」、発表などが行える「まなびホール」を配置しています。



### 9号館が竣工

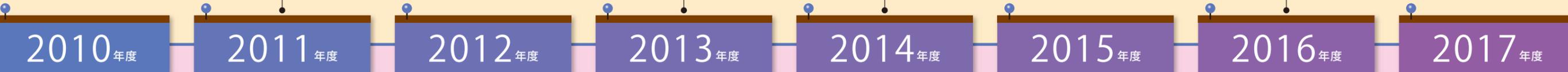
健康科学部健康栄養学科の教育施設として、衛生管理基準のHACCPに準拠し、最新式の調理機器・設備を設置。人文学部教育学科の保育実習などにも対応しています。



### 小学校課程実習棟を設置

小学校免許取得課程の開設に伴い設置しました。これまで、他大学の通信教育も併用しての免許状取得でしたが、本学の課程のみで取得が可能となりました。

### サークル練習棟の新設



2011年度～2014年度 第2期中期事業計画「次の50年に向かって」

2015年度～2018年度 第3期中期事業計画「変化に対応した大学づくり」

- “教職協創”のもと事業推進
- 各種奨学金制度見直し

- サークル学外指導者に関する規程整備
- サークル部長・顧問の制度化
- キャリアセンター（組織改正）
- 情報公表規程の制定
- FD・SD研修
- 「修道力フォーラム」開始

- サークル指導者懇談会を開始
- 教職員再雇用制度の見直し
- FD・SD委員会の設置

- 新3号館竣工
- 事務局（組織改正、総務部・財務部）

- 協創館竣工
- 高機能GPA制度を導入
- 大学ガバナンス改革（学校教育法及び学校教育法施行規則改正への対応）
- 職員部長制度の導入

- 国際交流スカラシップの充実
- 教学センター（組織改正、教務第1課・教務第2課・教務第3課）
- 「一人暮らしの新入生のための夕食会」を開始

- 9号館竣工
- クラブハウスを改修

- 校舎等建替計画を策定（2028年新体育館建設等のキャンパスマスタープラン）
- 臨床心理相談センターを開設
- グローバルラーニングスタジオの設置
- 附属中高新校舎の起工式

### 剣道場、柔道場、合気道場、ゴルフ練習場の改修



### ラーニング・commonsの設置

アクティブラーニングを実施できる場所として、図書館エントランス奥（1F）へ設置しました。電子黒板やホワイトボードを備え、学生が自主的にディスカッションやグループワークに取り組める環境を整えました。

### 食堂棟をリニューアル

学生がより快適に利用しやすく集える場所にするために、全面リニューアルを行いました。それまでの、「フォレスト」「アルカディア」「パティオ」に加え、アンデルセングループから「リトルマーメイド」に出店いただきました。



### クラブハウスを改修

体育局と文化局それぞれのサークルBOXを改修しました。活動しやすい環境を整えることで、サークルの活発な活動を支援しています。

### 臨床心理相談センター開設

2018年4月から大学院人文科学研究科心理学専攻に臨床心理学領域を設置することに伴い開設しました。地域の皆さまの心のケアを行うことを目的としたこの施設は、今後、大学院生の実習場にもなります。



### グローバルラーニングスタジオの設置

協創館2Fに、遠隔授業の配信システムを備えた教室や、同時通訳の訓練を行う「同時通訳ブース」を備えた教室、また、語学の発音発声練習を行うための自習室「ことばラボ」を設置しました。

### 駐輪場の屋根を設置

屋根を設置するとともに、駐輪場スペースを大幅に拡大しました。防犯の観点からも、十分な明るさを確保しています。

### 修大講堂を改修

新3号館の建設に向けて、講堂を教室として使用できるよう設備改修を実施。他に教室棟を建てることなく、新3号館の建設中もこれまで通りの授業を実施することができました。



### 喫煙ルームの設置

敷地内全面禁煙に向けた段階的な取り組みの一つとして喫煙ルームを設置し、学内分煙を行いました。

### フォーラム1F食堂を改修

改修に伴い、マリオ・ターヴォラ & マリオランチBOXに出店いただきました。ワンコインで食べられる本格パスタや気軽なテイクアウトメニューが学生に人気です。



### 外周道路を改修

図書館前広場などキャンパス中心部から車を迂回させる外周道路を建設しました。これにより、キャンパス内のより一層の安全確保がなされました。

竣工

学生支援  
組織財政ほか

改修・リニューアル

さまざまな取り組みを実施するにあたり、本学は以下3つのマインドを大事だと考えてきました。これら3つのマインドについてご紹介します。

### 世界で学び地域で生きる

グローバル化がますます進みつつある時代に私たちは生きています。他方では、日本の人口は約50年後には30%減り、8,800万人になります。こうした時代にあっては地球的な視野を持ちながら、地域の課題解決に向き合う人材が必要とされています。そのために本学は多様な国内外のプログラムを用意し、学生たちが本学で学び成長でき、よかったと思ってもらえるように、私たち教職員は努力していきます。



### 支援し励ます

学生の成長を支援し励ますために、多様なスカラシップを用意しています。成績優秀者のための在学学生スカラシップ、スポーツ・文化活動で優秀な成績をあげた学生には課外活動スカラシップ、経済的な困難を抱える学生のためのスカラシップ、留学生のためのスカラシップなどです。その他、国際交流や資格取得した学生へのスカラシップなどもあります。スカラシップ受給者だけでなく、他の学生にも刺激になることを期待しています。



### 教職協創

教員と職員が協力してより良い大学を創っていくこと (co-creating) を、大学運営の基本的な価値としています。一人ひとりの教職員が力量を高め、課題を共有するために、年に一度全教職員を対象とした「修道力フォーラム」を開いています。2017年度は「学生の成長支援」をテーマに議論しました。私たち教職員は学生、地域社会と一緒に望ましい未来を創っていくように努めていきます。



ここまで歩みを進められたのは、地域の皆さま、保証人の皆さまのご理解とご協力のおかげです。これからも日々の積み重ねを大切に、地域の大学として学生のために歩んでまいります。

## 海外留学記



宮島 千弦(みやしま ちづる)さん 人文学部英語英文学科4年(山口県立柳井高校出身)

留学先 **アデレード大学(オーストラリア)**

留学期間 **2017年2月～2017年12月**



### オーストラリア留学にこだわった理由

私がオーストラリアに留学しようと決めたのは15歳の時でした。中学3年の夏シドニーに2週間のホームステイをし、オーストラリアの自然・人・文化に魅了されたのがきっかけでした。大学に入学し、すぐに海外協定校リストに目を通し、アデレード大学を見つけました。応募するにはTOEFLという英語の試験で要求されたスコアを提出しなければならず、そこに到達するまで時間がかかりました。それでもずっと、オーストラリアという目標を変えなかったのには理由があります。一つ目は、オーストラリアで3番目に古く歴史あるアデレード大学で勉強したかったこと、二つ目は留学期間(2月～12月)が本学の学期間と似ており、帰国して4月からまた日本で前期から勉強を再開できること、三つ目は、6年前のホストファミリーと再会するのを約束していたこと、がありました。勉強中なかなかスコアが上がらず特に辛い時はホストファミリーと連絡をとるなどして自分を励ました。留学して2ヶ月後にその目標を叶えた時は、涙がでるほど嬉しかったです。

### アデレードでの留学生活

アデレードはオーストラリアの中でも比較的小さな街で、商業中心自治区内(シティ)は端から端まで徒歩20分ほどで横断することができます。元々移民の人々が作った街であるせいか、異文化や人種に対してとても寛容だと感じます。そのため、自分自身も街の一員だという気分になります。街を歩くと本当にたくさんの国の人と出会います。私がこれまで出会った人は半分アデレード人半分外国人

という感じで、基本的に会話はWhere are you from?から始まることが多いです。また、アデレード大学はシティの中にあるため通学がとても便利です。ちなみに「2015年度世界でもっとも住みやすい都市」第5位に選ばれたそうです。小さい街だからこそ、あまり騒がしくなく勉強に集中しやすい環境であり、人と人の絆が深く、移動も便利であるため、学生にピッタリの街だと思います。

### オーストラリアの大学での学び

オーストラリアのほとんどの大学では1学期に3～4科目しか受講しません。平均10科目ほど受講する日本の大学と比べると、一見楽そうに見えますが実はそうではありません。1科目には必ず週3時間の学習時間があり、ほとんどの科目は2時間の講義と1時間のチュートリアルで構成されています。チュートリアルとは講義よりも少人数の小さい教室でディスカッションやプレゼンテーション、講義内容に沿った練習問題などをやる時間です。私が一番苦労したのはこのチュートリアルでした。ただ席に座って教授の話を聞く受け身型の講義とは違い、能動的に意見を交換し合うチュートリアルは、そのような経験のなかった私にとってとても大変でした。プレゼンテーションは日本で何度も経験があり少し自信があったのですが、いざ本番になると多くの学生を前に英語で話すことに緊張し、手が震えたのを覚えています。私はアジア学の授業を受講していた



ので、ディスカッションで日本の社会や文化について話すことがありました。そこで15人ほどのグループになり、そのうち5人は日本人でした。多くの学生が自分の意見を言い合い、1人の学生が書記をしていました。10分程たった頃、書記の学生が言いました。「Any Japanese?(日本人の誰か、意見は?)」なぜならそれまで日本人全員が黙っていたからです。その時私は日本について話しているにも関わらず、ずっと沈黙していた自分がとても恥ずかしくなりました。それ以来「日本人はシャイだ」というステレオタイプに思われないように、積極的に自分に自信を持って発言するように心がけました。「間違えても恥ずかしくない。きちんと意見を言う方がもっと大事」。これはオーストラリアでの留学を通して学んだことです。

### これからの目標

「オーストラリアに留学する」という夢を叶えた現在、新しい目標があります。それは日本の文化や言語を世界の人に広める仕事をする事です。RA\*をしていた頃に留学生に日本語を教えることに興味を持ち、アデレード大学では日本語の授業に参加し、ボランティアで週に一度勉強会を開いていました。日本語を「話せること」と「教えること」は全く違うことで、初めは勉強会の構成や学生の質問などに苦戦しましたが、ネイティブだから教えられる発音やイントネーションの練習などを行い、自分らしい授業をすることを心がけました。参加した学生から、「楽しかった」「千弦さんの日本語はとてもはっきりして聞き取りやすい」と言われた時は本当に嬉しく、やりがいを感じました。将来はより多くの人が日本文化に興味を持ってもらえるような仕事がしたいです。

◎アデレード大学との協定は終了しており、今回が最後の交換留学生となります。

\*RA:Resident Assistant(レジデントアシスタント)の略。インターナショナルハウス(寮)において、本学留学生の日本での暮らしをサポートしています。



取材担当：学生広報スタッフ

坂田 空夜奏(さかた そよかな)さん  
商学部商学科2年  
(広島県立広島商業高校出身)



## 経済学部経済情報学科 脇谷ゼミ

※写真前列右から3人目：学外協力者 クランチャイマー株式会社 代表取締役社長 佐々木 宏太氏

## テーマ『プロジェクトを通じて、学んだスキルを社会で活かす』

## 今回のゼミ

12月19日、経済学部経済情報学科の脇谷ゼミを訪問しました。男子9名、女子2名、計11名の少人数ゼミです。現在このゼミでは、「地域つながるプロジェクト2017」の「つながりリング∞プログラミング」というプロジェクトに取り組まれています。プロジェクトでは、小学生向けにプログラミング教室を開催する予定となっており、今回訪問した時には、小学生に教える際に問題点はないか、もっとこうしたら良くなるのではないかと、企画の細かいところまでリハーサルをしながらチェックを行っていました。

## プロジェクトをゼミで行う

このプロジェクトにゼミで取り組まれていた理由は、大きく3つありました。

1つ目は、プログラミングに関する授業が小学生から必修化されることです。これからの学校教育で必要となり、また、すでに民間企業ではこのようなセミナーが活発に行われており、社会全体で注目をされています。



2つ目は、学科でこれまで学んできたことを社会に活かす体験ができるということです。経済情報学科では1年生の時からプログラミングを習います。自分たちが身につけたことが、社会の役に立つという実感ができ、卒業後の社会でスキルを活かしていくきっかけになります。

3つ目は、小学生に教える体験を通じて、学生自身の理解を深めるということです。誰かに教えるということはとても難しいことです。小学生に分かってもらうにはその為の準備や、自分自身の十分な理解が必要です。小学生だけでなく、学生にとっても良い経験になります。

これらの理由で取り組まれているプロジェクトは、相手に上手に伝える力を身につけて学んだことをきちんと理解していくことができ、自分にとってもプラスになります。

そして、一つのテーマを全員で作ってあげていくので協力する力も身につけていくのではないかと感じました。

## 全員が協力し助け合うゼミ

後日、プログラミング教室も取材させていただきました。教室では「SCRACH」という学習用の開発環境を用いてシューティングゲームを作る流れになっていて、学生が一对一で小学生をサポートしていました。予想外のトラブルや、予定どおりに進行できないなどの展開がありましたが、学外協力者の佐々木氏に助けをいただきながら、目標としていた内容をすべて実施することができました。

脇谷ゼミの皆さんは、授業の時間以外にもラーニングコモンズを使って活動をし、また、一つ一つの言葉や、操作の説明など、小学生により上手に伝える方法をみんなで活発に意見交換するなど、真剣に取り組む様子が伝わってきました。

終始笑顔で、やる時には全員が参加するとても素敵なゼミでした。



## ゼミ生の声



山本 篤史(やまもと あつし)さん  
経済学部経済情報学科3年(山口県立光高校出身)

プロジェクトで大変なことは、子ども目線に立って進めていくことです。自分が分かっていても相手に教えるのはとても難しいです。しかし、誰かに教えるという経験が、もっと完璧に理解をする良いきっかけになっています。プロジェクトを通して、プログラミングの能力だけでなく、人に伝える力が身につきました。このゼミはやる時にはみんながやるという、とても良いゼミだと思っています。新しい人との関わりが増え、そしてメンバーと協力して一つの目標に向かっていける場所ができ、脇谷ゼミに入って良かったなと思っています。全員で協力して成功した時の達成感がとても楽しいです。

## Topics 1 広島経済同友会創業支援委員会と本学学生とのワークショップを開催(11/27)



広島経済同友会と本学との共催により、学生の将来(キャリア・人生)に対する意識(起業・創業や継承、就職や転職)を把握するためのワークショップを開催しました。

当日は、社会で活躍する本学卒業生の起業家4名の方\*にもお越しいただき、学生時代の過ごし方や当時の働くことに対する意識、起業に至る経緯など、人生を巡る貴重なメッセージをいただきました。

その後、参加した同友会委員、卒業生、学生、教職員計65名が4グループに分かれ活発な意見交換を展開しました。参加した学生にとっては、卒業生起業家や多くの同友会委員(=経営者)から刺激的な話をうかがい、学生時代の過ごし方や今後の働くことに対する意識の持ち方、起業する場合の具体的な準備作業、ひいては働くことの意味、意義等々、極めて多くの示唆をいただきました。

これからの長い人生を考えていくうえで、就職だけにとらわれない、起業や創業といった選択肢も存在することを学生は感じたようです。

\*:山本 孝昭 氏(株式会社ドリーム・アーツ 代表取締役社長) 商学部卒  
金 甫信 氏(株式会社アーネスト代表取締役) 商学部卒、留学生  
千田 絵美 氏(株式会社フロントステージ 代表取締役) 人文学部卒  
高橋 真美 氏(株式会社Medy 代表取締役) 人文学部卒



## Topics 2 ひろみらオープンスクールを開催(11/25)

11月25日、本学協創館で「ひろみらオープンスクール」を開催しました。今年度はissue+designと連携し、市民と地域と大学がともに成長する「『学習する地域』のつくり方」について、参加者約100名の皆さんとともに考えました。

第一部では、issue+design代表の寛裕介氏より市民が地域において学び・挑み・成長する「学習する地域」を実現するた

めのプロセスと実践例をご紹介いただき、第二部では、本学人間環境学部の三浦浩之教授による地域と大学がともに成長する「学習する地域」の考え方を説明した後に、ワークショップによる「学習する地域」のあり方の提案を行いました。

本学と地域の方々がともに学び、創造し合う貴重な機会となりました。



## Topics 3 経済学部西田友是教授が秋の褒章を受章(11/3)

このたび、経済学部 西田友是教授が学問や芸術などで功績を残した人に贈られる「紫綬褒章」を受章されました。

西田教授は、日本におけるコンピュータグラフィクス研究のパイオニアであり、3次元物体のリアルな表現法、照明シミュレーション、景観予測、自由曲面の表示法、CGアニメーション、インタラクティブレンダリング等の研究に1970年から半世紀近く貢献されています。この度の受章につきまして、心よりお祝い申し上げます。



経済学部 西田 友是教授

## Topics 4 インターンシップ報告会を開催(10/25)



10月25日、さまざまな企業・行政・法人などのインターンシップへ参加した学生が、実習内容等について発表する報告会を行いました。今年度は、長期インターンシップの報告が加わり、全体で134名の学生が発表しました。報告会には、実習先でお世話になった担当者の方にもお越しいただき、学生の発表後にご意見・ご感想をいただきました。

学生からは、実習の内容とともに、「町のために働きたいなら、もっと町のことを知らないといけない。」「自分の課題を発見することができたので、今後の大学生活に活かして成長していきたい。」などの感想が述べられました。



インターンシップの期間は3日間～約2ヵ月間と実習先によってさまざまですが、全ての学生にとって、とても貴重な経験となりました。

## Topics 5 「第21回安佐南区農業祭」に健康栄養学科学生が参加(11/5)

11月5日、「第21回安佐南区農業祭(第38回安佐南区民まつり)」に健康学部健康栄養学科1年生10名が参加しました。

本学科では、広島県の地域食材PR推進事業に参加しており、沼田地区で栽培されている小松菜を使用したレシピ開発を荒木助教・鈴木助教を中心に学生10名で行っています。

この農業祭では、開発したレシピの「小松菜ポタージュ」と「小松菜パンケーキ」を沼田地区JA婦人会の方々による「戸山の合寿司」と一緒に150食限定で試食販売するとともに、レシピの配布も行いました。小松菜パンケーキは販売開始1時間程度で完売し、小松菜ポタージュも好評をいただき、松井広島市長も試食され高い評価をいただきました。



## Topics 6 防火・防災訓練を9号館で実施(11/14)

11月14日、「地震により火災が発生した」との想定で、教職員や学生等あわせて約50名が参加し、防火・防災訓練を9号館で実施しました。9号館での実施は初めてです。

震度6強の地震を想定し、負傷者の救出および出火への初期消火、通報訓練等を行いました。また、3階に設置している「避難シューター」の使用体験も行いました。訓練後は、安佐南消防署協力のもと消火器の取扱いの実地訓練を行いました。



## Topics 7 図書館・本館の外壁改修工事を実施



昨年8月から図書館外壁改修工事が行われ、このほど完了しました。昨年10月からは、第2研究棟屋上防水工事も行われ、こちらも完了しました。また、昨年9月からは本館外壁改修工事も行われており、2月下旬には完了する予定です。

## Topics 8 「第1回修大ふぁみりーフェスタ♪♪」を開催(12/9)

12月9日、本学において、「第1回修大ふぁみりーフェスタ♪♪」を開催しました。教育・保育を学ぶ本学の学生が、専門家と協力し合って計画し、近隣の乳幼児および児童、生徒とそのご家族84組が参加しました。

子ども達の文化・芸術・科学・スポーツ分野に対する知的な好奇心が高まり、学びの楽しさ、面白さを感じることができるよう、人形劇や工作、楽器演奏などでふれあいました。



## Topics 9 日本財団学生ボランティアセンター(Gakuvo)との協定を締結(12/6)

12月6日、本学と公益財団法人日本財団学生ボランティアセンター(Gakuvo)との間で学生ボランティア活動推進に関する協定を締結しました。

本協定は、学生ボランティア活動推進に関して、相互に協

力・連携を行い、学生ボランティア活動の発展に寄与することを目的としています。

今後、本学の学生ボランティア活動がますます活性化することが期待されます。

**news 1 国連ユニタール 隈本美穂子氏の講演会を開催(11/8)**

11月8日、国連訓練調査研究所広島事務所長の隈元美穂子氏(本学特別客員教授)をお招きし、「ミレニアム開発目標(MDGs)から持続可能な開発目標(SDGs)へ:これまでの達成状況とこれからの課題」と題した講演をいただきました。

講演ではご自身の経験も踏まえて、今日までの取り組みと今後の持続可能な開発目標(貧困・飢餓・教育・衛生・環境・平和等々の課題の解決)へのチャレンジについて解説をいただきました。

本講演は、法学部国際政治学科の授業「国際機構論II」(ナスリーン・アジミ教授担当)の一環として行われ、現地で活躍された方からの具体的な言葉を通じて、授業での学びをより深くするきっかけとなりました。



**news 2 災害復旧・復興支援のためのボランティア活動報告会を開催(10/26)**



10月26日、「災害復旧・復興支援のためのボランティア活動報告会」を開催しました。夏季休暇中に東北復興支援や九州復旧支援を行った本学学生12名が、現地での活動を報告しました。報告会では漁業支援活動や仮設住宅での活動、住居の土砂かきなどの活動内容に加えて、「復興は終わっていない」という現実を、多くの人に伝えていきたい、「一生のボランティア仲間(同志)が全国にできた」「支援に来てほしい」と言えない人(小さな声)をいかに拾っていくかが重要であるとわかった」等、活動を行ったからこそ伝えたい想いについても報告があり、参加した約40名の学生、教職員にとっても有意義な時間となりました。

**news 3 第36回広島修道大学留学生フォーラムを開催(12/9)**

12月9日、留学生フォーラムを開催しました。今回は「あなたの将来の進路は?~各国の就職事情を知る~」と題して、留学生5名、日本人学生1名がそれぞれ自分の立場から発表し、その後、将来の目標や各国の環境についてグループ討論を行いました。

今回のフォーラムでは事前に交流会も開催、その後に留学生、日本人学生、教職員等、総勢90名が参加し、参加者は、「国ごとに憧れる職業も違えば、就職活動で大事なことも違ってくる」ことを改めて認識することができました。今後、自分自身の進路を考える上でも貴重な機会となりました。



**news 4 経済科学部学生3名受賞「Challenge IoT Award 2017」**



「Challenge IoT Award 2017 ビジネスモデル発見&発表会近畿大会」(主催:ICTビジネス研究会、一般社団法人テレコムサービス協会近畿支部)で、経済科学部の脇谷ゼミ3年の3名がスポンサー賞「光賞」を受賞しました。本大会は、「IT・ICT」で、地域や社会を進化・課題解決できる「アイデア・ビジネスプラン・ビジネスモデル」の提案を行うもので、学生は、新しい漫画閲覧サービス「No Time Comics」の企画を発表しました。なお、スポンサー賞「光賞」は、本大会スポンサーの1つである株式会社光通信による賞となります。

受賞学生:左から、高平 義樹(たかひら よしき)さん、小山 貴弘(こやま たかひろ)さん、堂道 夏澄(どうどう かすみ)さん。いずれも経済科学部経済情報学科3年生。

**news 5 入学準備学習プログラム(第1回キャンパス学習)を実施(12/17)**



12月17日、本学の入学準備学習プログラムの一環として、第1回キャンパス学習を実施しました。AOインターアクション入試・公募推薦入試・指定校推薦入試・附属校推薦入試(専願)に合格した高校生575名が参加し、学科・専攻の紹介の他、模擬講義、「修大生になるために」や「日本語力アッププログラム」などを受講、一足早く大学での学びを体験しました。参加者からは、「この学科で学びたいという気持ちが強くなりました」、「入学までに沢山勉強して、力をつけておこうと思いました」などの声が寄せられ、入学までの数ヶ月を有意義に過ごすきっかけとなったようです。今後、参加者は通信課題に取り組むなど、継続的に学習を行い、2018年3月3日に実施予定の第2回キャンパス学習に臨む予定です。

**news 6 入試直前対策講座&相談会を開催(12/9・10)**

12月9・10日、福山会場、本学会場にて受験生・保護者を対象にした「入試直前対策講座&相談会」を開催しました。河合塾と駿台予備学校の講師が「センター試験+修大一般入試徹底攻略」と題した講座を行い、会場は入試得点のアップを目指す、多くの真剣な受験生の熱気に包まれました。また、保護者対象講演会、教員や在学生による個別相談コーナー、キャンパスツアーおよびインターネット出願「シューダイレクト」の実演会を行うなど、入学試験に向けて、本学への理解を深めていただく一日となりました。



**news 7 高大連携遠隔授業を実施(10/18・19)**



10月18・19日、本学協創館2階のGLSマルチメディア遠隔教室(8201教室)で、高大連携遠隔授業(教育ネットワーク中国主催)を行いました。配信先は広島県立庄原格致高校で、講師はナスリーン・アジミ教授(法学部)とジャナ・マリ・タウンゼント教授(法学部)が担当しました。生徒たちは映像を通じて質問に答えたり、〇×の札で回答したり、講師とのコミュニケーションを楽しみながら「多言語交流」について学びました。この事業は、遠隔地の高校生に大学の魅力を伝えることを目的に、2009年より実施されています。今回の講座が、本学や大学の学びに興味を持つきっかけになることを期待しています。

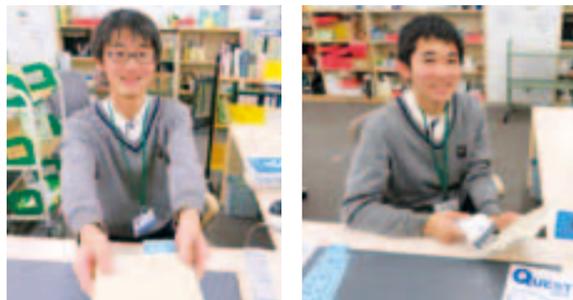
**news 8 大学競宴!シャレオ大学生コンサートに出演(11/24)**

11月24日、教育ネットワーク中国主催の「大学競宴!シャレオ大学生コンサート」がシャレオ中央広場で行われました。本学からは、吹奏楽団4名が出演し、「茶色の小瓶」「秋の童謡メロデー」となりのトトロメロデー」をクラリネット4重奏により披露し、多くの方々から温かい拍手をいただきました。また、今回は主担当校として放送研究会の学生2名が総司会を務める等、学生一人ひとりにとって貴重な発表の機会となりました。



## news 9 広島市立大塚中学校の生徒が図書館で職場体験 (11/9・10)

11月9・10日、広島市立大塚中学校の生徒2名が、職場体験学習で図書館業務を経験しました。データ入力やラベルの装備等の本の受け入れに関する一連の作業や、本の貸出・返却、配架といったカウンター業務、さらには文献複写等レファレンス業務といった図書館のさまざまな業務を体験してもらいました。職場体験学習を終え、生徒たちは「貸出の際に本の磁気を取る作業が楽しかったです」「書庫に想像を超える冊数の本があり大変驚きました」との感想を語ってくれ、本学の図書館を身近に感じてもらう場ともなりました。



## news 10 学内Book Hunting 2017を開催 (9/25~29)



9月25～29日の5日間、図書館エントランスホールにて「学内Book Hunting 2017」が開催されました。学内Book Huntingとは、「図書館に置いてほしい」と思う本を、学生・教職員の方々に選んでいただくイベントで、毎年図書協会と連携して行っているものです。今年はハロウィンをイメージした飾りつけや、ハロウィングッズと一緒に撮影ができるフォトブースなど、楽しく参加できるよう工夫されており、延べ343名の方に参加していただきました。選ばれた本は、12月より本学図書館にて閲覧・貸出可能になっています。

## news 11 第8回修大中国語朗読作文大会を開催 (12/2)

12月2日、本学の中国語教員、中国愛好会等の共催で第8回中国語朗読作文大会を開催しました。中国語を学び始めたばかりの1年生全17クラスから選ばれた、朗読の部、作文の部各1名計34名が、学習の成果を競いあいました。とくに朗読の部では緊張しながらも表情豊かに、また難しいとされる中国語の発音を正確にマスターし、発表しました。審査員の方から、「みんなとても上手で日頃の努力が見られました」との講評をいただき、発表を見た学生も、「大変刺激があって、出場者と同じように頑張りたい」と話していました。



## news 12 本学Webサイトをリニューアル (12/14)

12月14日、広島修道大学のWebサイトを全面リニューアルしました。2012年以来、5年ぶりとなる、今般のリニューアルでは、『大学案内』とWebサイトの連動によるブランドイメージの向上、PCだけでなくタブレットやスマートフォンなど、マルチデバイスへの対応、主要コンテンツの充実と整理によるユーザビリティの向上等を図っています。ぜひご覧ください。(広島修道大学Webサイト/URL: <http://www.shudo-u.ac.jp/>)



# 2017 作文コンテスト入賞作品発表!

テーマ「わたしのまちを世界とつなげる」

応募総数639編

2017作文コンテストの作品募集では、中学生の部228編、高校生の部411編、合計639編の応募をいただきました。11月15日に最終審査を行い、厳正なる審査の結果、以下の入賞作品を決定いたしました。

多数のご応募をいただき、ありがとうございました。なお、入賞作品は本学Webサイトでご覧いただけます。



### 【2017作文コンテスト入賞者】

#### 中学生の部 (応募総数228編)

##### ○最優秀賞 1点 (3万円分の図書カード)

宮永 心 (盈進中学校2年/広島県) ..... 「二つの子守唄がくれた夢」

##### ○優秀賞 3点 (1万円分の図書カード)

岩藤 奨弥 (盈進中学校2年/広島県) ..... 「僕たちの生活の向こう側のいのち」

西永 倫菜 (盈進中学校2年/広島県) ..... 「「YOSAKOI」の心で」

柳原 芽依 (廿日市市立廿日市中学校2年/広島県) ..... 「わたしのまちを世界とつなげる」

##### ○佳作 10点 (5千円分の図書カード)

小倉 涼 (廿日市市立宮島中学校3年/広島県)、尾崎 勇仁 (広島学院中学校2年/広島県)、小野 絢那 (広島市立牛田中学校3年/広島県)、

加藤 雅大 (廿日市市立野坂中学校1年/広島県)、金尾 陽飛 (盈進中学校2年/広島県)、金田 いつき (盈進中学校2年/広島県)、

福田 春香 (廿日市市立宮島中学校3年/広島県)、松林 右恭 (広島学院中学校1年/広島県)、渡邊 マヤ (福山市立精華中学校3年/広島県)、

和田 心侑 (広島市立中広中学校1年/広島県)

##### ○審査員特別賞 1点 (1,000円分の図書カード)

中原 一真 (上智福岡中学校3年/福岡県)

#### 高校生の部 (応募総数411編)

##### ○最優秀賞 1点 (3万円分の図書カード)

前田 壮哉 (沖縄県立名護高等学校2年/沖縄県) ..... 「わたしのまちを世界とつなげる」

##### ○優秀賞 3点 (1万円分の図書カード)

岡本 莉奈 (岡山県立岡山城東高等学校3年/岡山県) ..... 「岡山と世界の人々を繋ぐ橋渡し」

佐名 舞香 (岐阜県立大垣南高等学校1年/岐阜県) ..... 「オルレ」

鈴木 梓 (藤枝明誠高等学校1年/静岡県) ..... 「金谷の魅力を発信するには—SLとお茶—」

##### ○佳作 10点 (5千円分の図書カード)

尼崎 真帆 (高松第一高等学校2年/香川県)、石原 航希 (静岡県立富岳館高等学校3年/静岡県)、稲崎 静華 (高松第一高等学校2年/香川県)、

萱原 奈央 (福岡県立筑紫丘高等学校2年/福岡県)、荒神 さくら (比治山女子高等学校2年/広島県)、佐田 知奈美 (福岡県立三池高等学校1年/福岡県)、

久富 稜 (岡山県立玉野高等学校1年/岡山県)、松尾 紘渡 (福岡県立修猷館高等学校2年/福岡県)、宮城 翔 (沖縄県立名護高等学校2年/沖縄県)、

渡邊 大輝 (玉野市立玉野商業高等学校2年/岡山県)

##### ○審査員特別賞 1点 (1,000円分の図書カード)

川瀬 優稀 (近畿大学附属広島高等学校福山校1年/広島県)

<50音順、敬称略>

#### 【審査員】 <順不同、敬称略>

江種 則貴 (中国新聞社編集局長)、見延 典子 (作家/広島修道大学特別客員教授)、篠原 敦子 (株式会社合同総研代表取締役/代表税理士)、  
佐渡 紀子 (広島修道大学法学部教授)、西丸 拓也 (広島修道大学法学部法律学科3年)、仁尾 暢良 (広島修道大学法学部国際政治学科1年)

作品は、Webサイトでご覧いただけます。 [修大 2017作文入賞](#) [検索](#)

# 留学生と日本人学生の 交流の場を発見!

ともに学ぶ、ともに楽しむ

現在、約6,000名の学生が広島修道大学で学んでいます。その中には、9カ国・地域からの留学生が79名います(2017年12月13日現在)。

今回は、留学生と日本人学生が交流しているさまざまな場面に学生広報スタッフが伺い、インタビューを行いました。

どんな修大生の姿が見られるのでしょうか?

学生広報  
スタッフ

- |       |                                      |       |                               |
|-------|--------------------------------------|-------|-------------------------------|
| 後列左より | ■藤井祐太(ふじい ゆうた)<br>法学部国際政治学科4年        | 前列左より | ■田中彩季(たなか さき)<br>法学部国際政治学科3年  |
|       | ■藤沢慶祐(ふじさわ けいすけ)<br>経済学部現代経済学科3年     |       | ■羽田菜子(はたらくこ)<br>商学部商学科1年      |
|       | ■陳 章良(ちん いらりょう)<br>台湾・国立屏東大学からの交換留学生 |       | ■坂田空夜奏(さかた そよかな)<br>商学部商学科2年  |
|       | ■竹久貴弥(たけひさ たかや)<br>人文学部英語英文学科2年      |       | ■宍戸友紀(しじど ゆき)<br>人文学部英語英文学科3年 |



取材担当 竹久・陳・宍戸

## 留学生が母国語を教える「語学講座」

語学講座は2002年から開始され、今年度後期(10月10日~12月21日)は、これまで最大級の7カ国語の講座を開講しました。留学生が講師の講座で、本学学生は誰でも自由に参加できます。



広報スタッフ 田中

学生広報スタッフが  
ドイツ語講座に  
潜入!

講座は対話から始まり、発音やアクセントなどを確認しました。読み方が分からないところは気軽に質問ができます。文章を完成させる穴埋め問題では、ゲームをしながらドイツ語の単語を学ぶことができました。



### 講座内容



ドイツの歴史紹介もありました。講座は難しい内容もありましたが、留学生が受講生の進捗状況を随時チェックしながらアドバイスをしたり、一緒に問題を考えたりするなど、講師も受講生も一緒に楽しんでいる様子でした。  
※講座の内容は講師の留学生が考えて毎回準備しています。



取材担当 坂田・藤沢

ドイツで使えるおすすめフレーズ

Entschuldigen Sie bitte! Ich spreche leider kein Deutsch. Sprechen Sie Englisch?  
エントシュルディゲン スイー、ピッテ! イヒ シュプレッヘ ライダー カイン ドイチュ。シュプレッヘン スイー エングリッシュ?  
すみません。私はドイツ語を話すことができません。英語を話せますか?

### 講師(留学生)の声



左: MEWES, Sascha(メヴェス サージャ)さん  
右: KELLERT, Dominik(ケレートウ ドミニック)さん  
(2名ともアジャフェンブルク応用科学大学からの交換留学生)

ドイツ語を初めて学ぶ学生も授業で学んでいる学生も、どちらも楽しめるような授業を心がけています。「先生と生徒」という関係ではなく「友達」のように話しながら過ごすとても楽しい時間です。

### 受講生の声



普門 舞(ふもん まい)さん 人文学部英語英文学科1年(広島県立広島国泰寺高校出身)

授業でもドイツ語を学んでいるのですが、この講座では日常の表現などが学べるのでやりがいを感ずります。週1回の開催ですが、毎週参加しています!

### 広報スタッフの感想

語学講座は発音や単語を学ぶだけでなく、歴史や文化など、留学生の母国のことを知ることができるとても良い機会だと思いました。

### 上記以外の語学講座講師一覧

- |  |   |  |  |
|--|---|--|--|
|  | チェコ語<br>NOVAKOVA, Veronika(ノヴァコヴァー ヴェロニカ)さん<br>(オロモウツ・パツキー大学からの交換留学生) |  | フランス語<br>MOUROT, Ludovic(ムロロードヴィック)さん SAKHO, Awa(サコアワ)さん<br>(テレコム・ビジネス・スクールからの交換留学生) |
|  | 中国語<br>邱 勤斌(キウ キンビン)さん<br>(暨南大学からの交換留学生)                              |  | ベトナム語<br>Pham Thi Cam Trieu(ファム ティ カム チュウ)さん<br>(ホーチミン市人文社会科学大学からの交換留学生)             |
|  | 英語<br>MORA, Raechel(モラ レイチェル)さん<br>(アリゾナ州立大学からの交換留学生)                 |  | 韓国語<br>ムン ジョヒョンさん<br>(仁川大学からの交換留学生)  |

広報スタッフ 羽田

## あなたの将来の進路は? 第36回留学生フォーラム

~各国の就職事情を知る~

12月9日(土)、第36回留学生フォーラムを開催し、留学生、日本人学生、教職員等総勢90名が参加しました。「広島修道大学留学生フォーラム」は、留学生との交流の場として1987年から始めた交流行事です。

### 交流会 12:00~13:00

パスタやラップサラダなどの料理を片手に交流を楽しみます。言語の壁を越えてお互いに仲を深めることができました。



### 発表会 13:15~14:15

留学生5名(中国、ベトナム、アメリカ、韓国、チェコ)と日本人学生1名が母国の就職事情を発表。質疑応答では日本の就活の流れやコツについて話す場面もありました。



### グループ討論 14:30~16:00

6グループに分かれ、国による就職事情などの違いや将来の夢などを話し合いました。また、夢を叶えるためにすべきことや今頑張っていることなどを話し合い、グループごとに発表しました。



### 参加者の声



古谷 美穂(ふるたに みほ)さん 人文学部英語英文学科1年(広島県立安古市高校出身)

さまざまな国の人たちと交流したいと考え参加しました。日本の就職事情だけでなく、他国の就職事情も知ることができ、将来を考える上で良い刺激となりました。

### 参加者の声



オスピンさん(啓明大学からの交換留学生)

韓国では「熱情ペイ」、「金の匙」という言葉がありますが、日本でも「オハハラ」など就活でよく聞く言葉があるのだと知りました。大変勉強になりました。また参加したいです!

### 広報スタッフの感想

交流会で仲良くなったあとに討論の場面があるので、自分の意見も言いやすく、意見交換でより留学生と交流を深めることができるのだと思いました。

## サークル活動 ~剣道部~

本学にはサークル・委員会等の団体が約100あり、留学生の中にはサークルに所属している学生もいます。



取材担当 藤井

### 留学生



MOUROT, Ludovic(ムロロードヴィック)さん(テレコム・ビジネス・スクールからの交換留学生)

- Q 活動の中で特に好きなことは?  
A 剣道は難しいですが、サポートしてくれる先生や友達丁寧な教えてくれるので、毎回新しい知識や技を覚えることを楽しんでいます。
- Q 参加してよかったことは?  
A 日本語はまだ分からない言葉が多いですが、剣道部の仲間とは日本語で会話をするので日々上達しています!



【部長】左納 浩輝(さのう ひろき)さん 法学部法律学科2年(広島市立沼田高校出身)

剣道部は毎週火・水・金曜日に活動しています。Ludovicさんに日本語で剣道を教えることは簡単ではないですが、参加してくれたことで自分たちの剣道を見直す機会にもなっていると思います。日本の武道である剣道を、留学生と一緒にできるのはとても嬉しいです。

### 広報スタッフの感想

サークルを通して国際交流をすることは、語学と日本の文化の両方を知ることができるため、留学生にとっても日本人にとっても良い刺激になると思いました。

## ボクシング部



個々で目標を掲げ、高い意識で練習に取り組んでいます

みなさんこんにちは!ボクシング部は、中国大学ボクシング秋季大会で2年連続の団体優勝。個人では4名出場して齋藤昌典選手、太田翔選手、松谷拓巳選手の3名が優勝し、太田翔選手はMVPに輝きました!

ボクシング部は、全員仲が良く、厳しくも優しい監督や、OBの方の熱心なご指導により充実した環境で練習に臨んでいます。

今後は、秋季大会団体優勝3連覇と春季大会団体優勝を目標に掲げ、日々の部活に取り組んでいきます。

## ボート部



新たに女子部員が入部、大会への参加も積極的です

わがボート部に、待望の女子選手が入部しました。それに伴い、今年の10月に大学とOB会の援助を受けて、女子用の新艇を購入しました。本学だけでなく、他大学でも女子部員は少なくレースが中止になりかけたこともありましたが、負けずに日々練習に励んでいます。最近では広島県秋季ボート選手権大会やオータムレガッタに出漕しました。まだまだこれからだと思っています。

現在は関西で行われる大会に出漕することが目標ですので、応援よろしくをお願いします。

## 将棋同好会



年に2回の大会目指して、個々のレベルに合わせて取り組んでいます

私たち将棋同好会は、年2回、春と秋に行われる「中四国学生将棋大会」での活躍を目指して日々頑張っています。秋に行われた大会では、個人戦で1名がベスト16に入賞しました。部員は明るい人たちがばかりで、初心者でも丁寧に指導しています。また、将棋はレベルが離れていると、その差を縮めるために駒落しというルールがあります。昨今の将棋ブームの影響で将棋を指したくても指す相手がいない、ルールがわからないという方はぜひ一度部室に遊びにきてください。

今後は、春に行われる「中四国学生将棋大会」での活躍を目指して練習を続けていきます。

## マンドリン部



依頼演奏に加え、他大学との演奏会も盛んです

広島修道大学マンドリン部はイタリア発祥の弦楽器とクラシックギターとコントラバスで演奏をしています。マンドリンを聞いたことない人も多いと思いますが、キレイな音色で初心者でも練習すればすぐ弾けるようになります!私たちは主に依頼演奏を中心に活動しており、月に約1回学内学外問わず演奏しています。毎年11月には定期演奏会、今年は新たに修大祭で演奏会を開催しました。12月には新人撰を経験しました。また、他大学と一緒に演奏する機会もあり、3月には全日本学生マンドリン連盟中国ブロック定期演奏会に参加予定です。私たちは少ない部員数ですが、皆仲良くアットホームな雰囲気の中で楽しく音楽を奏でています。

## 体育局 試合・戦績

サークル・団体名	大会・行事名	結果	
弓道部	第65回全日本学生弓道大会	団体 女子個人	予選敗退 予選敗退
陸上競技部	西日本インカレ	11名出場	
	中国五県大会	男子400m 男子800m 男子4×400mR	7位 7位 5位 伊藤大地 宮藤優希 小松・伊藤・山田・佐々木
ヨット部	全日本チームレース選手権大会	5位	
剣道部	広島県学生剣道大会	男子団体Aチーム 男子団体Cチーム	3位 3位
バドミントン部	中国大会	女子ダブルスA級 女子ダブルスB級 ミックスダブルス	3位 2位、3位 4位
	県リーグ	女子団体	優勝
ソフトボール部男子	第52回全日本大学男女ソフトボール選手権	ベスト16	
山岳部	夏山合宿	北穂高岳(3106m)登頂	
卓球部	第68回中国学生卓球選手権秋季大会	男子シングルス 男子シングルス 男子ダブルス	準優勝 ベスト16 3位 重本浩輔 木下慶 重本・木下ペア
ラグビー部	平成29年度 第57回広島県リーグ戦	VS福山大学 VS広島大学 VS広島大学霞	35-7 19-57 14-43 WIN LOSE LOSE
ボート部	25thオータムレガッタ2017	女子1X 一気通貫 一般1X 修道大学A	1位 3位
テコンドー部	第6回阪神テコンドー選手権大会	個人トゥル成年有段 個人トゥル成年青赤帯混合 個人マッソギ+64kg級男子 個人マッソギライト級男子	1位 1位 1位 1回戦通過 山肩優輝 吉川直哉 坂口風太 山肩優輝
ボクシング部	中国大学ボクシング秋季大会	団体優勝 個人L級 個人LW級 個人M級	優勝 優勝 優勝 太田翔 松谷拓巳 齋藤昌典
総合格闘技クラブ	RF武道空手道選手権大会	青年男子5級以下の部	準優勝 谷元隆司
広島修道大学スカッシュ部	第45回全日本学生スカッシュ選手権大会	選手権男子 選手権女子 新人男子	三回戦進出・二回戦進出 三回戦進出・二回戦進出 二回戦進出
FCフェルテ	SS AUTUM CUP 2017 WEST 2nd leg	得点王	久根本貴也
修大フットサル	LEAGUE CRAQUE 2nd シーズン	得点王	久根本貴也

## 文化局 活動スケジュール

サークル・団体名	日付	大会・行事名	場所
上田流茶道愛好会	2月上旬	卒業茶会	明星院
	3月上旬	大塚児童館での茶会	大塚児童館
ウエスタン部	2月上旬	冬の定期演奏会	広島市内のライブハウス



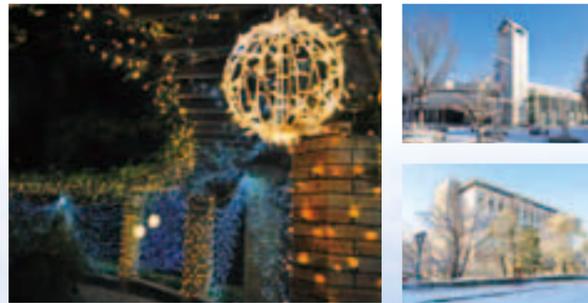
# 刊行物

本学の先生方の著書を紹介いたします

## 『ビジネス教育論の展開』

河内 満 著  
大学教育出版 2017年11月10日 416ページ 3,600円(税別)

本書は、ビジネス教育をビジネス教育論といえるものにまでに高めるには、どのように組み立てればよいのか。主体としてのビジネスを動かしているものは何か。この法則を理解すれば、ビジネスの諸活動を理解できるというものは何か。このようなビジネス教育の課題に対して、資本の論理とビジネスの論理という二つの論理と「不易」と「流行」という時間軸を組み合わせること、そして、現実のビジネスの実務に関わるビジネス倫理観を念頭に置くことによって、主体としてのビジネスの諸活動を統一的に理解できることを明らかにしている。



# Event Guide

EVENT CALENDAR

GUIDE

## 1 January

1/31(水) アリゾナセミナー出発(3/3帰国)

## 2 February

2/ 3(土) ニュージーランドセミナー短期出発(3/19帰国)  
2/ 6(火) 第2回筆記試験対策模試  
2/ 7(水) 国家公務員採用試験制度説明会  
2/ 8(木)～2/20(火) (土・日除く) 業界・企業研究セミナー(3年生)  
2/10(土) 地域つながるプロジェクト2017成果報告会  
2/13(火) ポーランド・グローバル・イノベーションセミナー出発(2/24帰国)  
2/14(水)～16(金) 後期追試験(学部)  
2/19(月) 長期貸出図書返却日(卒業・修了年次生)  
卒業・修了年次生成績発表  
2/25(日) ベトナムセミナー出発(3/10帰国)  
2/26(月) 中国語セミナー出発(3/28帰国)  
後期追試験成績発表(学部卒業年次生)  
2/27(火)～3/2(金) Spring English Camp  
2/28(水) 図書館整理休館日(自習室利用可)

## 3 March

3/ 3(土) 入学準備学習プログラム第2回キャンパス学習  
3/ 8(木) 卒業認定者・修了認定者発表  
グローバルコース修了式  
第10回就職ガイダンス(3年生)  
3/ 8(木)・9(金) 広島修道大学 合同企業説明会2018(3年生)  
3/10(土) ひろみらFES2017開催  
3/12(月)・13(火) 広島修道大学 合同企業説明会2018(3年生)  
3/20(火) 学位授与式  
3/23(金) 成績発表・ガイダンス(新3年次生対象)  
3/23(金)・26(月)・27(火) 日本学生支援機構奨学金・本学学習奨学金新規応募説明会(在学生対象)  
駐車場・駐輪場利用申請者手続開始 **GUIDE**  
3/26(月) 成績発表・ガイダンス(新4年次生対象)  
3/27(火) 成績発表・ガイダンス(新2年次生対象)  
3/28(水) 新入生英語プレイメントテスト・留学説明会等  
3/30(金) 図書館整理休館日(自習室利用可)  
3/30(金)～4/3(火) Web履修抽選科目エントリー  
3/31(土) ニュージーランドセミナー中期出発(9/17帰国)  
ニュージーランドセミナー長期出発(2019/3/19帰国)

## 4 April

4/ 1(日) 入学式、学生センターガイダンス、教育懇談会(新入生保証人対象)  
4/ 2(月)～4(水) 新入生ガイダンス・オリエンテーション  
(学生センター・教学センター・学生会等)  
4/ 3(火) 日本学生支援機構予約奨学生説明会  
4/ 3(火)・4(水) 新入生健康診断  
4/ 4(水) Web履修抽選発表  
4/ 5(木) 前期授業開始  
一人暮らしの新入生のための夕食会  
4/ 5(木)～11(水) 前期履修登録  
4/ 6(金) 日本学生支援機構奨学金・本学学習奨学金新規応募説明会  
4/ 9(月)・10(火)・12(木) 卒業年次生健康診断  
4/ 9(月)～13(金) 駐輪場利用継続申請者手続期間 **GUIDE**  
4/10(火) キャリア支援講座ガイダンス  
4/11(水) 長期貸出図書返却日(新2～4年次生)  
4/20(金)・23(月) 前期履修登録確認  
4/24(火) 日本学生支援機構奨学金・本学学習奨学金応募締切  
4/27(金) 図書館整理休館日(自習室利用可)

## これからの入試日程

### TOPICS

一般入試(後期日程)は、全ての学部・学科・専攻に出願できる併願制を導入。1回の受験で最大13の学部・学科・専攻に出願できます。

**出願はインターネット出願「シュウダイレクト」でのみ受け付けます。**

### 学部

- 2/16(金)～2/26(月) インターネット出願受付(一般入試(後期日程)、インターネット出願受付(大学入試センター試験利用入試(後期日程))
- 2/16(金)～22(木) 編入学・学士入試(商学部・健康科学部・国際コミュニティ学部除く)願書受付
- 3/ 2(金)一般入学試験(後期日程)・編入学試験・学士入学試験(商学部・健康科学部・国際コミュニティ学部除く)
- 3/ 8(木)合格発表(一般・センター試験利用入試(後期日程)、編入・学士入試(商学部・健康科学部・国際コミュニティ学部除く))

### 大学院

- 2/ 1(木)～8(木)願書受付(第2次募集)
- 2/16(金)入学試験
- 2/23(金)合格発表

**NEW** プレ・オープンキャンパス(高校新2・3年生対象)  
**「プレ修活」** 2018年3月18日(日) 12:00～16:30  
学部選びにきっと役立つイベント。特別講演も開催予定です。保護者の方もぜひ一緒にご参加ください。  
○食堂営業 ○市内バス(横川駅前～本学)運行 ○市外・県外バス運行  
詳しくは、「入試情報サイト」をご覧ください。

**【問い合わせ先】入学センター Tel (082) 830-1100**

### ■保健室より

この時期は、インフルエンザやノロウイルスなどの感染症が流行しやすい時です。日頃から疲れた時や体調不良の時は早めに休養をとるなどの自己管理に加え、外出先から帰ってきた時や食事前の流水での手洗い、うがい、咳やのどが痛む時はマスクを着用するなど実施して予防に努めましょう。発熱、咳、鼻水、のどの痛み、腹痛、嘔吐、下痢などの症状がみられる時は早めに医療機関を受診してください。2月、3月の休暇中でもインフルエンザと診断されたら保健室まで報告してください。  
※健康診断の詳細はHPIにてお知らせします。必ず受診しましょう。  
※保健室では医師による健康相談と管理栄養士による栄養相談を行っています。(無料)詳細はHPIにてお知らせします。(学生・教職員対象)

**【問い合わせ先】保健室 Tel (082) 830-1118**

### ■財務課からのお知らせ

1月から3月の工事についてお知らせします。

**1 本館外壁改修工事(2018年2月完成予定)**

**【問い合わせ先】財務課 Tel (082) 830-1108**

### ■学生センターより

**《自動車・自転車・バイク通学による学内駐輪場利用について》**  
自動車・自転車・自動二輪(バイク・原付)に関して、一定条件を付して駐輪場・駐輪場利用許可制度を設けており、本学の学生が学内に乗り入れて駐車する場合は、事前に学生センターに申請し学長の許可を受けなければなりません。学生の交通マナーを向上させるため、定期的な講習の受講を義務づけ、所定の手続きを行った者に自動車については駐車許可証、自転車・自動二輪(バイク・原付)については駐輪ステッカーを発行しています。講習会の日程については学生センター掲示板を確認してください。自動車の場合は年額6,000円、自転車・自動二輪(バイク・原付)の場合は車両1台につき年額500円の利用料を支払い、駐車許可証または駐輪ステッカーを取得して、学内駐輪場を利用してください。

※許可証・ステッカーは年度毎に更新が必要ですので引き続き通学に使用する場合は、忘れずに更新しましょう。

**【問い合わせ先】学生センター Tel (082) 830-1117**

# Hiroshima Shudo University Campus Photo Message



## ① 第57回修大祭を開催(11/3)

11月3日、第57回修大祭を開催しました。今回のテーマは「群青～shudaism～」約8,300名の方にご来場いただきました。メイン会場であるプレイグラウンドでは、学生による屋台、クイズ大会、サークルによる演奏やダンスパフォーマンスが会場を盛り上げました。夜になると、キャンパス内はキャンドルとイルミネーションで彩られ、色鮮やかで大きな打ち上げ花火が修大祭を締めくくりました。

## ② 広島信用金庫CM撮影を実施(1/10)

広島信用金庫のプロモーション動画の撮影が本学で行われました。主人公となる学生を中心とした心温まるストーリーで構成された動画は、主に入社説明会用として春から使用される予定です。

## ③ イルミネーション点灯(11/27-2/5)

今年もハーモニーロードのパーゴラに、後援会によるイルミネーションが点灯されました。点灯期間は、2017年11月27日(月)から2018年2月5日(月)まで、時間は16:20～22:00です。今年度は星をかたどったイルミネーションが二つに増え、バージョンアップしています。黄色や青のイルミネーションがハーモニーロードを通る学生たちを優しく照らします。

## ④ 第18回安佐南区民駅伝大会2017へ参加(12/3)

12月3日、広島広域公園陸上競技場周辺にて行われた「第18回安佐南区民交流駅伝大会」に本学職員チームが出場しました。6区間12kmにわたるコースをチームで走り切りました。結果は、38位(57チーム中)でした。地域において、交流を深める貴重な機会となりました。

PRESENT

## クイズに答えてプレゼントをもらおう

**Q** 教育・保育を学ぶ本学の学生が専門家と協力し合って計画し、近隣の子どもたちやご家族にご参加いただいた今年初めて開催したイベント名は何でしょう?

- 1 りんりんフェスタ ♪♪
- 2 修大ファミリーフェスタ ♪♪
- 3 修大子どもフェスタ ♪♪



正解者の中から6名の方に、本学オリジナルグッズ「clip on slim (2色ボールペン)」をプレゼント(ボディの色は、お選びいただけません)。ハガキに、郵便番号、住所、氏名、年齢、電話番号、クイズの回答をご記入の上、〒731-3195広島修道大学総合企画課宛までご応募ください。(住所表記なしで届きます)。

締切りは、3月23日(金) / 消印有効。プレゼントの発送をもって発表に代えさせていただきます。正解は3月26日(月)以降、本学ホームページにて発表!なお、応募に関する個人情報は本目的以外には使用いたしません。

### — TRUTH秋号の問題と答えを発表します。 —

**Q** 本学は「地球的視野を持って、地域社会の発展に貢献する人材の育成」を理念、教育目標として掲げていますが、truth秋号の座談会でスローガンとして書かれていた言葉はどれでしょう?

- ① 世界を学び、地方で生きる。
- ② 地域を学び、世界で生きる。
- ③ 世界を学び、地域で生きる。

**答えは「③世界を学び、地域で生きる。」です。**

多数のご応募ありがとうございました。

☎ 「旬」な情報を発信中!

大学の最新ニュースや何気ない1コマをtwitterやFacebookで紹介しています。またYouTubeでは大学紹介ムービーやテレビCM、修大の学歌などを視聴いただけます。



twitter  
[http://twitter.com/shudo\\_u](http://twitter.com/shudo_u)



You Tube  
<http://www.youtube.com/user/shudokikaku>



Facebook  
<https://www.facebook.com/HiroshimaShudoUniversity>